

令和6年度 第4回舟橋村教育委員会定例会 会議録（概要）

期 日：令和6年7月24日 8：30～

場 所：舟橋村役場 教育長室

出席者：土田教育長、中本職務代理者、野村委員、大上委員、堀田委員
松本事務局長、平澤学校教育係主任

< 議 題 >

1 6～9月行事等の報告 (別紙1)

2 社会教育事業について (別紙2)

3 その他

(1) プール開放および授業でのプールの利用について

- ・育成会と学校で昨年の様子も踏まえて検討した結果、今年度はプール開放を行わないこととした。例年開催されているバンドリーの水泳教室のプール管理は教育委員会で行う。熱中症などのリスクを踏まえた開催判断は、バンドリーに委ねる。
- ・近隣では、立山町や上市町も学校開放はしていない。授業では常願寺ハイツのプールを利用している。インストラクターによる指導やバスの送迎も可能かもしれない。
- ・温水プールを利用するのであれば、季節問わず授業に組み込める。夏の混雑時を避けることで希望に沿った日程での利用も可能になるのでは。

(2) 部活動の地域移行について (小中学校交流教室)

- ・今年度もバスケットボールの交流教室を開催。スポーツエキスパートの稲林さんに依頼している。近いうちに村に小中学生が在籍できるクラブチームができる予定であり、中学生もクラブへ移行し、部活動からは離れる予定。
 - ・テニス部も同様に移行予定。その為の環境整備として、テニスコートのナイター照明設置も検討中。
 - ・吹奏楽部も移行できたらと考えてはいるが、村には楽団がないため難しい。住民に対し、楽団設立の足掛かりとなるような募集をしたこともあるが、特に反応はなかった。経験者の情報はあるので、自由に練習できる場の提供（練習会）をしてみてもよいかもしれない。
 - ・部活動の地域移行の課題として、活動場所の確保がある。体育館は社会教育団体の利用もあり、自由に使える時間が少ない。いろいろと問題はあるが、できるだけ選択肢を増やしたい。
- また、e-スポーツ等、子どもが飛びつくような部活動の検討もあってもよいのでは。

(3) 老人クラブによるこども見守り隊について

- ・現在、老人クラブの会員数も減少し、見守りの継続が難しいとの相談を受け、各種団体で集まり、今後について話し合った。

現行のような決まった時間に決まった場所に立つという内容では、他団体の協力を得ることも難しいため、今後は、できる人ができる時にできる場所で見守る“ながら見守り隊”を活用することとなった。

- ・朝は集団登校であり、下校時や下校後の自由に遊んでいるような時間はリスクが高いため、夕方の散歩時等、生活の一部に自然な見守りができるとよい。
- ・“ながら見守り隊”の活動が活発化するようPRをするとともに、広報でも老人クラブによるこども見守り隊がなくなり、“ながら見守り隊”が主となることを伝える予定。
- ・こども110番の家は、他市町村では毎年継続して引き受けてもらえるか確認しているところもある。村では行っていない。村でも一度精査が必要かもしれない。
- ・防犯カメラの設置については、問題点がいくつかある。四六時中撮影するとなれば、撮られたくないという方もいる。また、カメラはあくまでも撮影しているだけなので、証拠にはなるかもしれないが、発生時には何もできない。ただし、抑止にはなるので、ダミーでも設置してあれば有効かもしれない。自治会に対しての補助金はあるので、必要なら活用してほしい。

(4) 中学校教科用図書の採択

(5) 事務連絡

- ・次回 9月5日(木)に開催